

vol.1



浪曲師 玉川奈々福 ライブ!

阿波芸能巡礼



2019年7月14日(日) @ 阿波十郎兵衛屋敷

【出演】玉川奈々福(浪曲師)・沢村さくら(曲師)・阿波木偶箱まわし保存会、辻本一英(同左顧問)

司会：越路よう子

【受講料】¥2500(入場料込み)

【開場】17:30

【開演】18:00

お問合せ：阿波十郎兵衛屋敷 徳島県徳島市川内町宮島本浦184TEL 088-665-2202

今をときめく浪曲師！玉川奈々福の浪曲ライブ！！

阿波の祝福芸「三番叟まわし」と、玉川奈々福・辻本一英による芸能トークもお楽しみに！（司会：越路よう子）



玉川奈々福

神奈川県横浜市出身。浪曲師・曲師（浪曲三味線弾き）。1995年7月、二代目玉川福太郎に入門。三味線の修行をしていたが、師の勧めにより2001年より浪曲師としても活動。2004年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全5回、2005年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全5回をプロデュースしたが、全10回公演がすべて大入り満席となる。2006年12月、芸名を美穂子から奈々福に改め名披露目。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲や、長編浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。かに座の〇型。平成30年度文化庁文化交流使として、イタリア、スロベニア、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、キルギス、ウズベキスタンの七か国で公演を行った。第11回伊丹十三賞受賞。

沢村さくら

浪曲の曲師（三味線）です。2000年に沢村豊子に弟子入り東京で活動していましたが、諸事情により大阪に住まいを移し、いまはおもに大阪で三味線を弾いています。修業の日々です。



辻本 一英

芝原生活文化研究所代表 阿波木偶箱まわし保存会顧問
NPO法人ヒューマンネットとくしま理事長。1979年に、生活文化の調査を始める。1995年に、阿波木偶箱まわし保存会を組織して、「三番叟まわし」「箱廻し」「えびすまわし」「大黒まわし」等の無形民俗文化財の伝承を手掛ける。徳島県内における生産と労働を中心とした生活文化の調査研究にとり組み、全国各地の木偶調査を行う。著書は『阿波のでこまわし』『福を運んだでこまわし』他がある。2016年、歌舞伎の市川猿之助さんに続いて第4回「水木十五堂賞」を受賞する。

阿波木偶箱まわし保存会

阿波木偶「三番叟まわし」や「箱廻し」をはじめ、徳島県独特の祝福芸や門付芸等の無形民俗文化財調査研究を目的として1995年に発足。師匠の門付先を受け継ぎ2002年から徳島県内で正月の門付を行う。2018年には、徳島県内6市7町で1060軒の民家に福を届けた。現在、国内外の公演に阿波文化の魅力を発信している。2019年は、祝福芸（7/27・国立小劇場）や韓国公演（10/1-4・大韓民国国立民俗博物館）を予定している。＜受賞他＞・2006年徳島新聞賞「文化賞」・2009年ユネスコアジア文化センター「ACCU賞」・2009年徳島県「阿波文化創造賞」・2015年阿波木偶「三番叟まわし」が徳島県指定無形民俗文化財となる・2017年サントリー地域文化賞・2019年日本遺産「藍のふるさと阿波」の構成文化財となる

